

第IV章 高校生にとって進路指導とは



1. 進路指導のタテマエとホンネ

(1) 教師としての悩み

高校の教師たちが「わが校の進路指導」を語る時、どこまでがホンネでどこまでがタテマエなのかわからないといわれる。校内の教師同志、あるいは生徒全体、そして生徒個人、父母の前で、校外の人に対したとき、多少の違いは当然あるにしても、その時その場に応じて、進路指導の基本理念までが玉虫色に変化するからなのであろう。

「知徳体の調和のとれた教育を」「高校は予備校ではない」「偏差値にふりまわされずわが道を歩め」「自分の進路は自らの意志と責任で決めよ」と、教師は熱っぽく説きなが

ら、一方で同じ教師が偏差値のみで生徒を選別し、有名大学に「わが校」から何名合格したかを誇りにするという姿もみられるのがその一例であろう。

「浪人を前提にしたような昨今の進学指導は、もはや進路指導とはいえない」という教師すらいる中で、もう一度高校における進路指導の理念をふり返ってみたい。こうした折りに文部省の手引きを引用するのは型通りという気もするが、基準という意味で紹介すると、進路指導とは、「生徒の個人資料、進路情報、啓発的経験、及び相談を通して、生徒自ら将来の進路の選択・計画をし、就職または進学して、さらにその後の生活によりよく適

応し、進歩する能力を伸長するように教師が組織的・継続的に指導・援助する過程である。」(文部省『中学校・高等学校進路指導の手引』)とされ、その実践にあたっては、『高等学校学習指導要領』にも示されているように、学校の教育活動の全体を通じ、個々の生徒の能力・適性等の的確な把握・伸長、適切な各教科・科目や類型の選択指導を計画的、組織的に行なうこととなっている。しかし、現実にはどうであろうか。とくに進学指導の場合は、偏差値と大学ランキング表を片手に、まったく本人まかせか、業者や予備校頼みの進路指導になっていないだろうか。

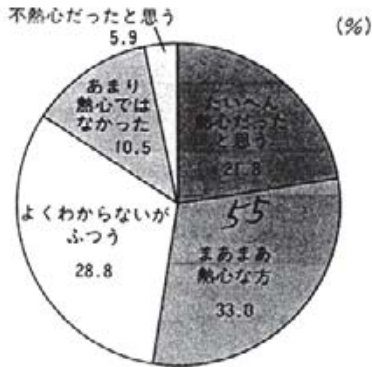
本章では、すでにふれたように進路選択がほぼ決まった段階の3年生(3月末ごろ)が、「高校の進路指導」をどうとらえているか、その後の進路・生き方に関してどう考えているかなどをまとめたものである。

(2)学校への評価

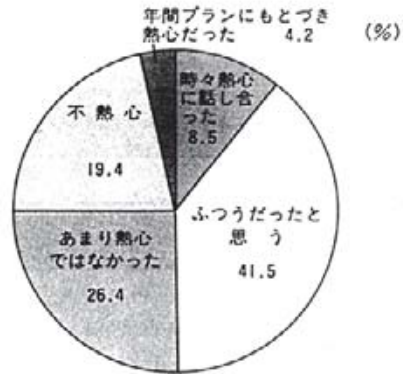
高校における進路指導は、極論すれば、進学校であればあるほど、大学入試に全力投球すればよいという面が生じるため、継続的な息の長い指導を敬遠し、生き方や職業観の指導などは無視されがちとなる。しかし図IV-1によると、半数以上の者が進路指導全体を「熱心」だったと答えている。これは、本来的な進路指導をさしているのではなく、いわゆる入試情報の提供や、担任段階の個人指導などをさしているものと思われるが、そうした情報提供の力すらも失われているのではと思っただけに、予想外の印象を受け

た。もっとも図IV-2のホームルーム、図IV-3の担任とのかかわりでは「熱心」派は少なくなっているのは、進路に関しては最後は自分の意志と責任で決め教師には頼らない、あるいは頼れないという側面があるためであろう。もちろんこれには学校の伝統や雰囲気も関連しよう。図IV-4は、かつては、進学校といわれてきた学校ほど、進路指導室や進路資料室などないに等しいか、あっても雑然と資料が置いてあっただけの場合が多かったものである。しかし最近では情報化時代を反映して、どの学校でも相当にデータが整備されているので、生徒も利用していることがうかがえる。表IV-1は図IV-1~4の「たいへん・十分に・かなり~まあまあ」の部分をもとめたものだが、性別では(私立校は女子はなし)男子のほうが、学校別では私立のほうが、学校における進路指導を高く評価している。なお調査した私立校のほとんどが六年間教育であることが進路指導の徹底と結びついたのでであろう。図IV-5に高校三年間の生活の充実度を示したが、男女とも8割前後のものが普通以上で、「不満派」は思っていたより少ない。そこで学校生活との関連性を調べたのが図IV-6である。「第一志望進学」の中に「高校生活がまあ充実していた」と思う生徒が多いのは、志望通りの進路につけたのであるから当然としても、浪人生の中にも高校生活を高く評価している者が多いのが注目をひく。楽しい高校生活もよかった、受験はこれからの問題というのであろう。

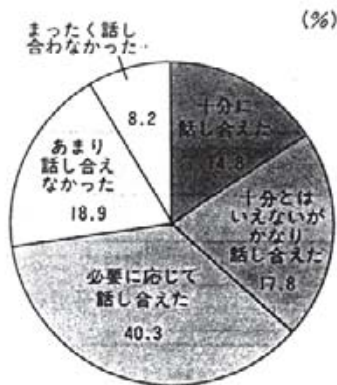
図Ⅳ-1 進路指導全般



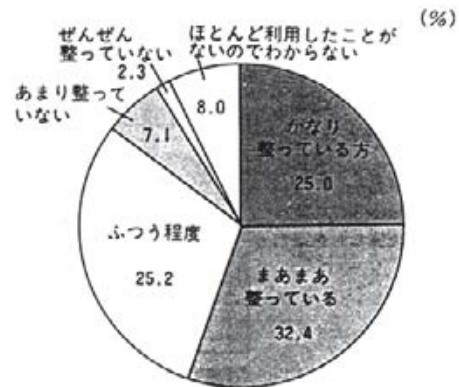
図Ⅳ-2 ホームルームと進路指導



図Ⅳ-3 担任とのかわり



図Ⅳ-4 進路指導・資料室の整備と活用

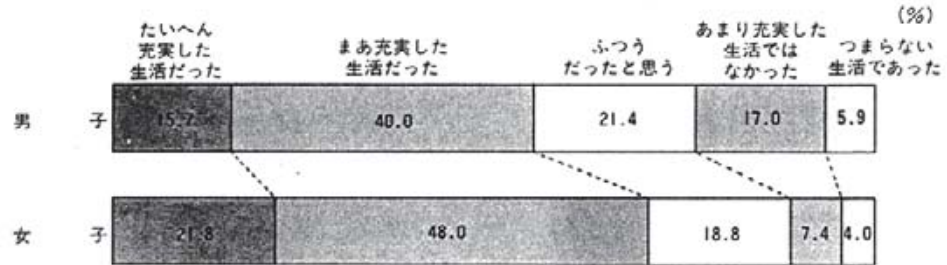


表Ⅳ-1 高校生の進路指導観

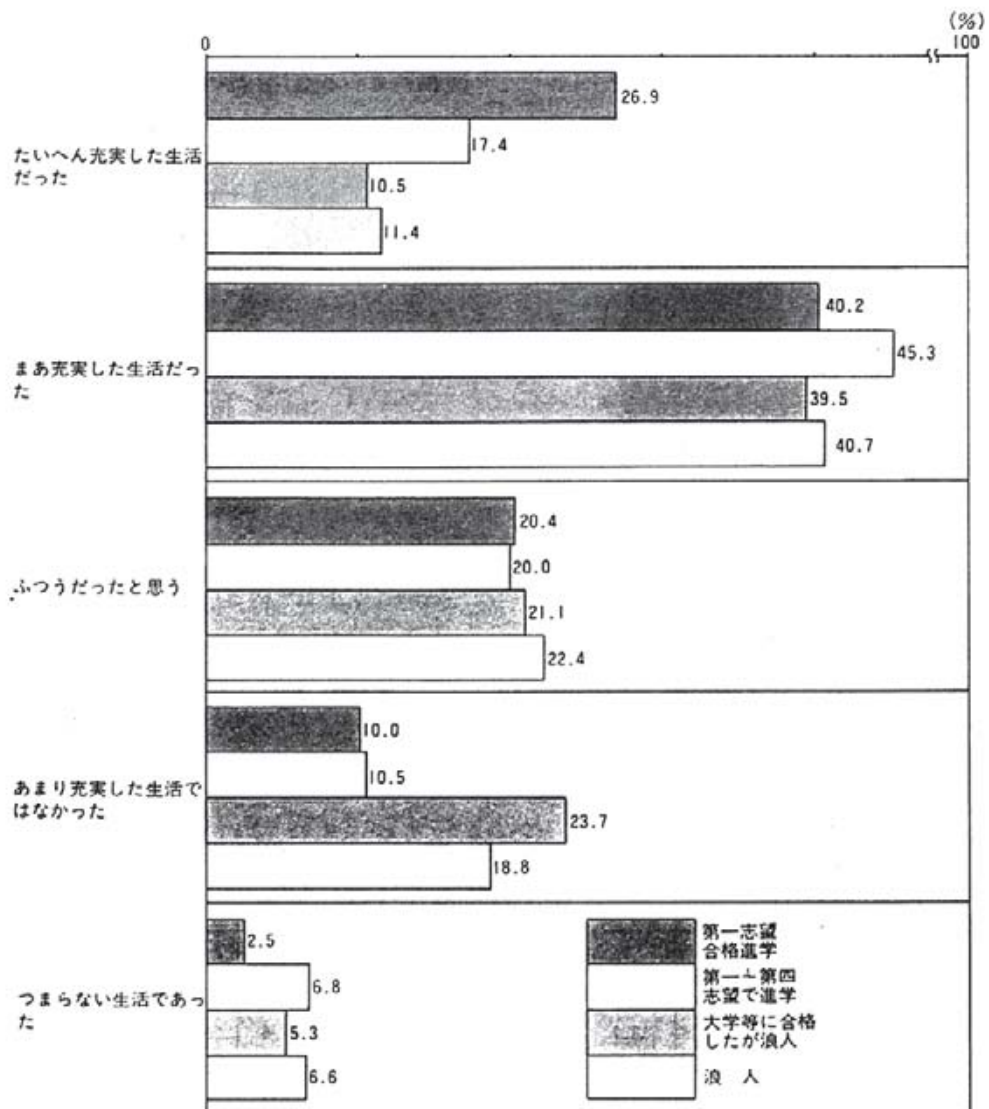
項目	属性	性別		学校別		進路別				
		全体	男	女	公立	私立	第一志望進学	第一・第二志望進学	合格したが浪人	浪人
進路指導全般		54.8	56.9	49.3	44.0	57.9	62.0	53.2	50.0	52.4
ホームルームと進路指導		12.7	13.7	10.5	10.3	15.3	12.5	12.7	15.8	13.0
担任とのかわり		32.6	33.7	30.3	29.3	31.2	37.5	31.6	39.4	28.4
進路指導・資料室の整備		57.4	60.1	49.5	46.3	66.0	55.8	54.2	73.6	58.3

図Ⅳ-1～4のうち「たいへん・かなり+まあまあ」の割合

図Ⅳ－５ 高校三年間の充実度



図Ⅳ－６ 高校生活の充実度×進路に対する満足度



2. 進路をめぐる教師像

(1)好きな教師

高校の進路指導における教師、とくに担任の役割は何であろうか。とくに進学指導となれば、業者や予備校等の資料やデータがありあまるほど出そろっている昨今では、教師は個人の偏差値の推移と大学のランキング表をみて、せいぜいアドバイスするぐらいしかできない。学部や学科はむしろ親兄弟、先輩に聞いたほうが早くて具体的であろう。そこで教師にできることは「君は今でもあまり辞書を引こうとしないのに、英文科へ行くのか」「医者には急患のためには夜中でも起きねばならない職業だよ」と言ってやるぐらいという感じもしてくる。「身のほどを知れと激しく言ひ給ふわが師の顔に苦悩の色あり」(朝日歌壇)の通り、教師が生徒の適性、能力をじっくり見きわめることは至難のわざに近い。現代のような情報化社会のもとでは、十年いや二、三年先の職業や仕事の動向をうらなうことさえ困難になりつつある。結局、いい大学へ入って、無難な企業に勤めるか、公務員になることを黙認するか形となる。ムキになって忠告すると、こちらの苦悩の色を読みとって、「先生、浪人してバッチリ入りますよ」とか

えってなぐさめられるハメともなる。

表Ⅳ-2、表Ⅳ-3は、そうしたさまざまな忠告や直言する教師を、生徒がとてもしかなり好感、あるいは反感をもつに分けて、割合の高い5つを並べたものである。まず「望ましい教師のタイプ」で、男女ともに6割以上支持がある項目は2つしか認めがたい。つまり、「自分の好きなことをやれる大学や学部を選べ」(72%)、「親をいっしょに説得してくれる」(66%)という励まし型の先生で、あとの項目は支持率が半分以下にとどまる。例えば「予備校選び」など、好感派が21%に対し、反発派も39%となる。「進路決定にはほとんど口をはさまない」も好感派40%に対し、反発派も22%いて、教師の進路指導のむずかしさを表している。これに対し、「望ましくないタイプ」について、半数近くの生徒が反発を感じている項目は5つに及ぶ。そして、「異性との交際をやめろ」、あるいは「部活動をやめろ」など、禁欲的な態度をすすめる教師への反発は強い。受験が大変なのは自分がわかっている、そうなのであるから、教師だからといって、説教しないしてほしいというのであろう。

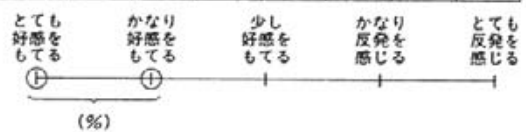
表Ⅳ-2 生徒の望む教師像

— 励まし型の教師を望みたい —

(%)

項目	属性 全体	性別		学校別		進路学部別						
		男子	女子	公立	私立	理工	法・経商	文外国語	教育	医・歯薬	農・水	家政芸術
知名度などにこだわらず、自分の好きなことをやる大学や学部を選ぶべきだという教師	72.1	70.4	<77.2	77.0	>65.8	74.2	67.4	71.4	(83.3)	80.0	79.1	79.1
父母などの反対があっても、本人が進みたい道があれば、いっしょに親を説得してくれる教師	65.8	67.3	>63.6	65.1	<66.0	65.7	68.0	63.2	(88.9)	70.0	62.5	66.7
早くから目的意識をもって勉強できるから自分の進路はできるだけ早く決めた方がいいという教師	43.9	44.5	>42.3	40.8	<50.8	34.3	44.9	38.1	55.5	(62.5)	47.8	41.7
「自らの進路は自らの意志と責任で決めよ」といって、ほとんど口をはさまない教師	39.6	41.4	>34.2	38.9	>34.8	39.7	41.1	41.8	(55.5)	35.0	43.5	26.0
浪人が決まったとき、予備校選びまで忠告する教師	20.9	22.7	>16.4	16.0	<23.1	23.1	18.8	21.0	5.6	24.3	(31.8)	17.4

○ = 最大値



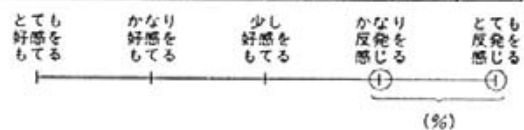
表Ⅳ-3 生徒の望まぬ教師像

— 禁欲型は敬遠したい —

(%)

項目	属性 全体	性別		学校別		進路学部別						
		男子	女子	公立	私立	理工	法・経商	文外国語	教育	医・歯薬	農・水	家政芸術
離間校を目指すなら、三年生になって異性と交際はひかえた方が私たちのためだと忠告する教師	73.7	70.1	<83.6	79.8	>67.1	67.7	73.3	(84.9)	66.6	74.4	82.6	63.6
離間校を目指すなら、運動系クラブは少なくとも三年生になったら退部して、勉強に専念すべきだという教師	58.6	54.6	<69.7	64.5	>49.1	51.9	62.8	61.3	(77.8)	55.0	65.2	66.7
君は女性だから就職や結婚を考えると、進人は避けた方がいいと忠告する教師	55.3	51.5	<63.8	63.4	>49.1	50.4	51.7	60.0	68.8	59.4	(71.4)	66.7
何年浪人してもA大学に入るといふ生徒に、君の力では浪人しても無理だからランクを下げた方がいいと置言する教師	50.6	48.3	<57.2	55.7	>43.7	49.0	51.7	57.3	(61.1)	34.2	30.4	56.5
学歴意識が根強い社会だから、できるだけ知名度の高い学校に進んだ方が将来のためだとはっきりいう教師	49.1	43.5	<64.8	62.7	>37.6	40.9	47.5	62.1	(66.6)	44.8	45.9	62.5

○ = 最大値



(2)どんな先生が多いか

それでは、実際問題として進路についてどのように忠告、直言し、あるいは曲言してくれる教師はどのくらいいるのであろうか（図Ⅳ-7）。図でみる限り、「進路はできるだけ早く決めよ」「自分の好きなことをやれる大学や学部を選べ」「浪人しても無理だからランクを下げよ」と熱心にアドバイスする教師は多いとはいえないまでも、各学校に何人か

はいる感じになる。

進路指導とはたんに進学指導や就職斡旋をすることではなく、学校の教育活動全体を通した、息の長い、生き方や人生設計の援助活動だといわれる。「生き方」の指導となると、生活指導や生徒指導プロパーとどうかかわってくるのか、先に述べた「クラブを止めて勉強に専念せよ」「異性との交際はひかえよ」式の忠告をする教師の多い学校と、対照的に「自分の進路は自分の意志と責任で決めよ」と口をは

図Ⅳ-7 忠告、直言、曲言する教師の数

—何人かはいる—

	（%）			
	ひとりもない	何人かいる	お一半分くらい	たくさんいる
知名度の高い学校に進め	12.9	57.9	18.8	10.4
自分の好きなことをやれる大学や学部を選べ	4.4	47.3	32.1	16.2
進路はできるだけ早く決めよ	4.3	32.5	37.9	25.3
「進路は自分の意志と責任で決めよ」と口をはさまない	14.7	57.4	19.1	8.8
浪人しても無理だからランクを下げよ	11.3	49.8	28.5	10.4
いっしょになって親を説得してくれる	28.0	56.2	12.0	3.8
3年での運動クラブは止めて勉強に専念せよ	18.0	44.1	25.9	12.0
異性との交際はひかえた方がよい	28.6	46.8	17.1	7.5
女性だから将来を考えて浪人は避けた方がいい	38.7	40.8	16.0	4.5
浪人が決まったとき、予備校選びまで忠告する	22.6	50.3	19.6	7.5

さまな教師の多い学校などを考えるとき、進路指導プロパーとの関係は、大まかなながら

次のように図式化できるように考えられる。

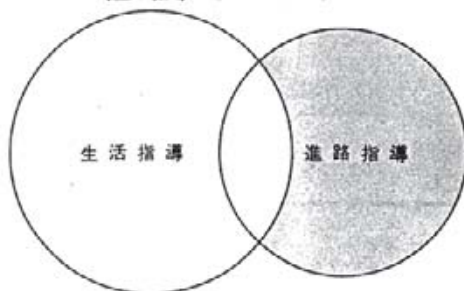
A型：非進学校に多い



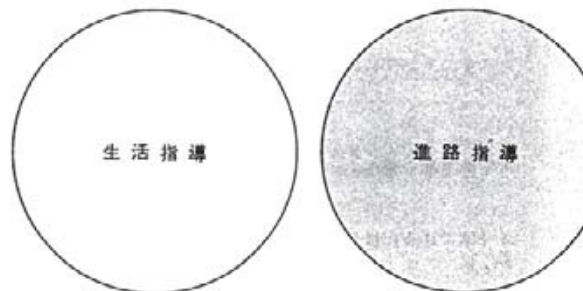
B型：進学校型



C型：一般的にこの型が多いと思われる
(生活指導の方がやや熱心)



D型：職業高校に多い(ほとんど就職)



今回の調査校の大方が、B型に属してはいるが、公立あり(男女共学校)、私立あり(すべて男子校)で、一様な断定は避けたいが、こ

れが進学率が下がり就職者の多い高校になるにつれてA型が多くなるのであろう。

3. 進路選択についての考え方

最近の高校生は、とくにこの調査を受けた3年生は丙午生まれで人数も少なく、浪人しないで入るところへ入りたいという、いわば安全指向型が多いといわれてきた。そこで、多少極端な進路選択の例をあげ(最近徐々にふえている例である)、生徒側がそうした生き方・考え方をどうみるかをまとめたのが表Ⅳ-4である。7つの項目だけでまとめてみると、偏差値よりも自分の志望を優先したい。だから受験まぎわになって、これに左右され

るのは反対という生徒が、3分の2以上に達する。さらに、自分の志望をなにより優先させるのはよくないという生徒は6%にすぎない。しかし、反面業者や予備校の資料(結局は偏差値)を、学校や担任の資料やアドバイスよりも重視するのはよくないという生徒は、43%に減っている。偏差値信仰が厚い一方で、そうであるからそれによって左右されることへの反発も強いというわけであろう。とくに東京の高校の場合、予備校や受験産業によるニ

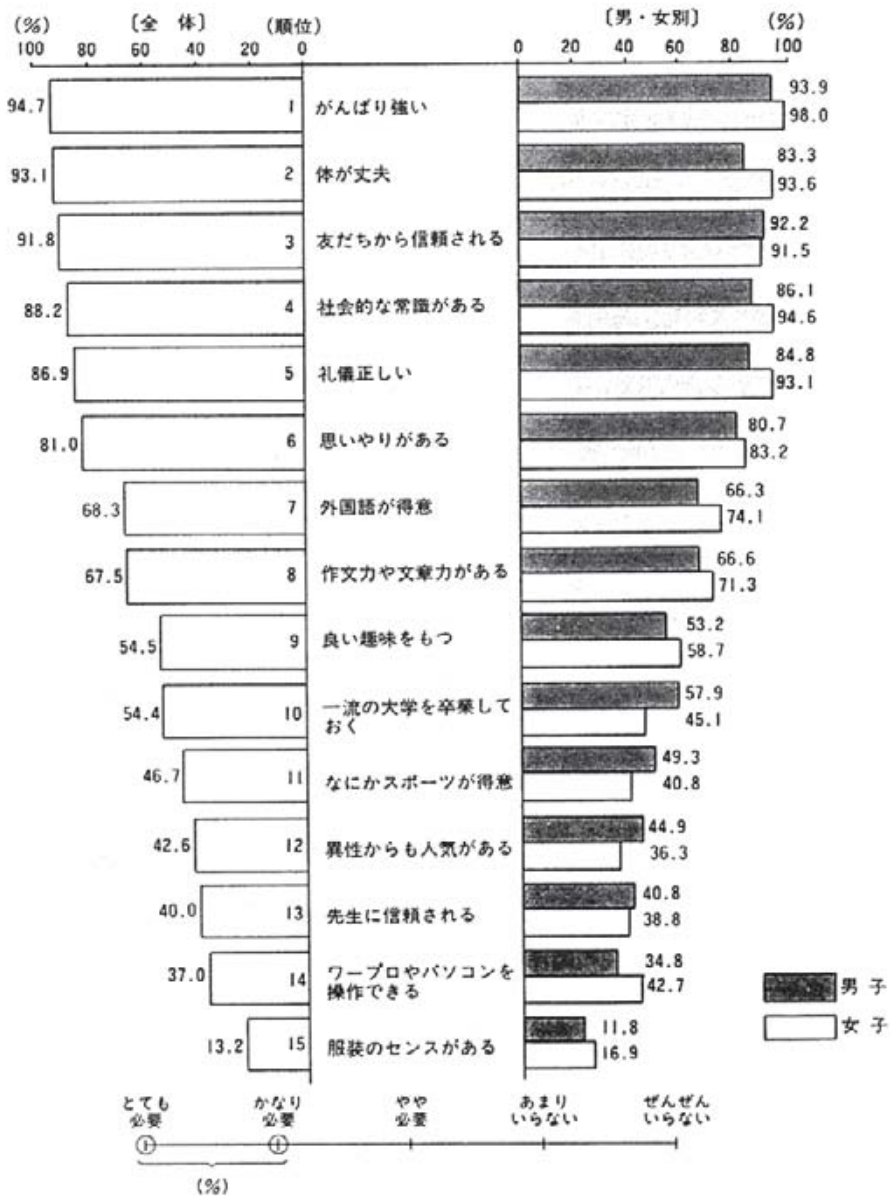
4. 今後の進路と自己像

技術革新に伴う変転の激しい現代社会を生きていくためには、それぞれの進路や、これからの社会、あるいは自己の生き方をどう考えているのだろうか。学歴主義から実力主義

へ、立身出世型から自尊心満足型へと移行しているというのは事実なのであろうか。——こうした点にいささかでもアプローチしようとしたのが本節のねらいである。

図IV-8 社会的に成功するための要因

——がんばる力が必要で、学歴はさほどいらぬ——



(1)社会的に成功するための要因

社会的に成功するために必要と思われることを15項目あげ、「とても、かなり必要と思う」部分の割合を高い順にグラフ化したのが図Ⅳ-8である。まず「がんばり強い」「体が丈夫」が上位を占めるであろうことは予想していたが、3位から6位まで人間関係(12位、13位は例外だが)、7位から後に能力関係がきていること、学歴にいたっては10位であることが目につく。日本社会の特殊性が縮図化されている気がする。性別でも10%以上差があるのは「2位;体が丈夫」と「10位;一流の大

学を卒業しておく」以外、ほとんど差が認められない。

学歴については「一流の……」という言葉にある種の反発を感じたのかもしれないが、「やや必要」(31%)まで含めると85%になり、このへんがホンネなのであろうが、それにしても高学歴は「とても」とはいえないが、「かなり」必要。つまり、あってもそれほど効果はないが、ないのは困る。学歴の持つ意味が上記の程度に変化したのであろう。たまたま手もとにある総理府青少年対策本部による「世界青年意識調査(第3回)59年」によると、社会で成功する要因は次のように示されている。

(%)

国名 \ 順位	1	2	3	4	5
日本	努力 73.9	才能 50.0	運・チャンス 47.3	学歴 7.8	身分・家柄 3.2
アメリカ	努力 63.9	才能 55.6	学歴 48.3	身分・家柄 11.9	運・チャンス 7.1
イギリス	努力 66.1	才能 64.3	学歴 36.9	運・チャンス 17.2	身分・家柄 10.5
西ドイツ	才能 55.5	努力 50.5	運・チャンス 31.2	身分・家柄 18.2	学歴 13.0
韓国	才能 81.6	努力 74.0	学歴 25.3	身分・家柄 11.3	運・チャンス 3.6

(以下略) 「世界青年意識調査(第3回)」による

日本をのぞいてほとんどの国で、「個人の努力」「個人の才能」が上位1位、2位にあげられており、ついで多くの国では「学歴」があげられているが、日本と西ドイツでは、「運・チャンス」をあげる者のほうが多く、とくに日本では「学歴」をあげる者が8%と、各国にくらべ著しく少ないのが目立っている。日本の若者は、学歴は「必要」ではあるが、それによって烙印がはりつけられ、一生涯を通して各個人の成功するチャンスを左右されることはなくなったという意識の表れなのであろう。

(2)将来展望

どのような仕事につくか、その可能性の大きい順に、志望学部別に表にしてみた(表Ⅳ-5)。一番多い専門職に例をとっても、予想されることとはいえ、社会的に尊敬され、お金ももうかる専門職につけそうだと思っているのが医学部志願者で、お金は最低、部下もほとんどなく、世間の人に知られることも少ないと、未来を予想しているのが、教員志望系である。人生この通りにならないところに妙味があるわけだが、これからの世の中、ジェネ

表Ⅳ-5 将来像と志望学部

—専門職にはつけそうだ—

(%)

項目	属性 全体	志 望 学 部						
		理 工	法・経・商	文・外国語	教 育	医・歯・薬	農・水産	家政・芸術
専門職といわれる仕事につく	64.5	77.1	52.6	52.1	64.7	92.5	69.6	66.7
社会的に尊敬される仕事につく	39.9	40.6	45.4	27.8	35.3	63.1	40.9	37.5
お金のもうかる仕事につく	32.9	34.4	41.2	22.6	5.6	42.5	26.1	20.8
たくさんの人を部下に持つ仕事につく	28.9	31.6	43.2	16.3	5.9	25.0	21.7	4.2
世間の人に名前が知られる仕事につく	28.7	26.9	39.3	21.1	17.6	32.5	13.0	25.0

○ = 最大値

とても無理だと思ふ かなり無理だと思ふ やや無理だと思ふ たぶん可能だと思ふ 絶対可能だと思ふ

(%)

ラリストが減って、ますますスペシャリストがふえていくといわれる。そうした一方、高学歴化が、このまま進むと、大学卒の主要分野と考えられてきた専門的、技術的、管理的職業が少ないため、高校卒の主要分野である事務、販売、サービスなどの職業へと、大学卒が移行を余儀なくされる時代が来つつあるのもたしかであろう。それにしては、表Ⅳ-5の結果は生徒たちの見通しの甘さを示しているように思われてならない。

(3) 資質・能力・性格の自己評価

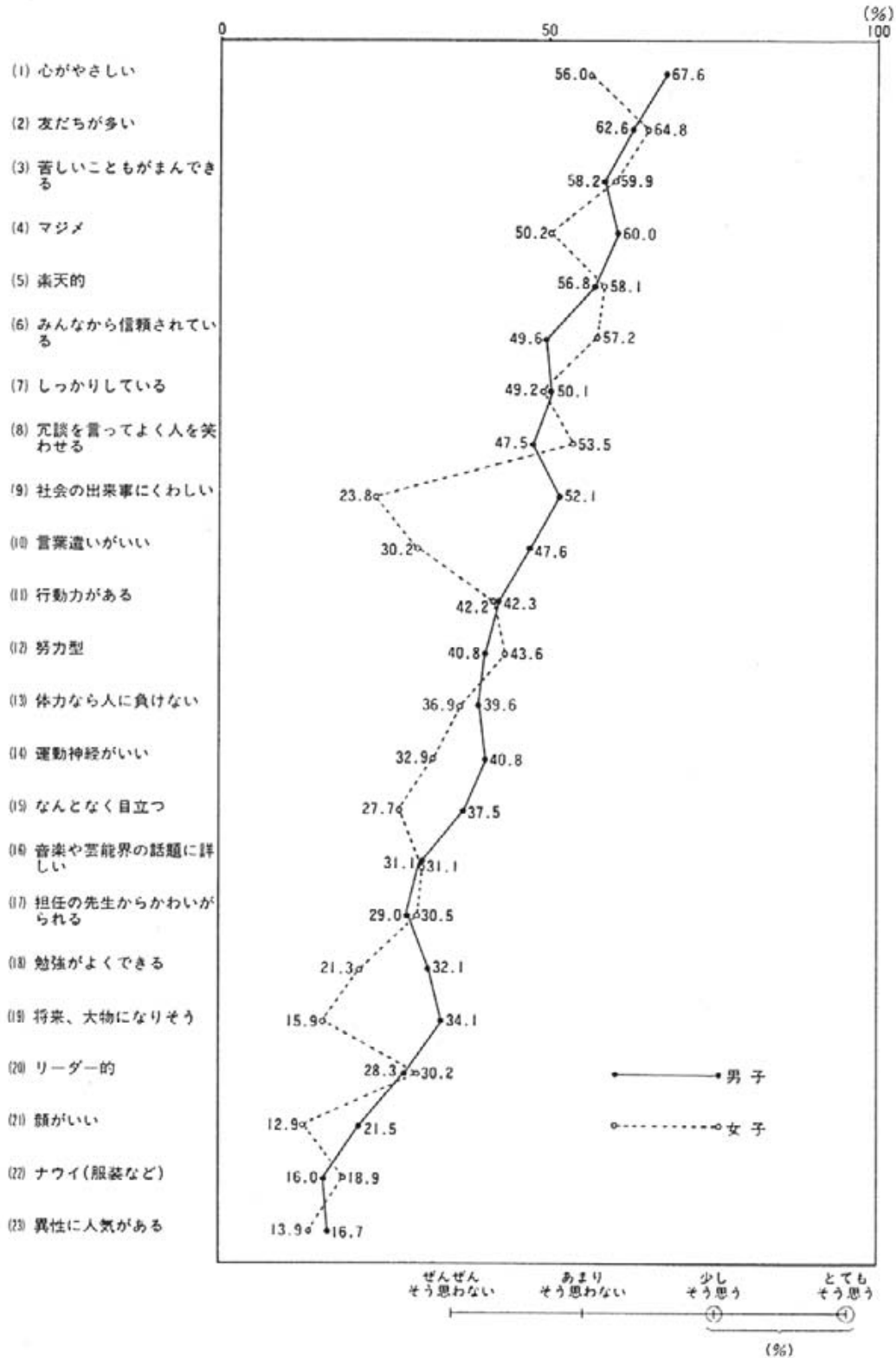
図Ⅳ-9は、同じ学年の友だちとくらべて、自分はどのような人間だと思われるかを、割合の高い項目順に並べた結果である。現代の若者には「思いやりがない」「耐性不足」「不

真面目」「甘えん坊」とよく指弾されるが、この自己評価をみるかぎり、男女とも5割以上の者が、心がやさしく、苦しいこともがまんでき、真面目で、しっかりしている。しかも、友だちも多く、みんなから信頼されているとも答えている。それに比べ、勉強もよくでき、体力もあって、リーダー格で、しかも異性にも人気があると思っている自信にみちあふれた若者は少ない。

とくに女子に差(10%以上)の大きくみられる(9)「社会の出来事にくわしい」、(10)「言葉遣いがいい」、(19)「将来大物になりそう」などは従来から性差の著しい項目であっただけに、その差を縮めるのには今後とも、多少時間のかかる感じがする。

図IV-9 資質・能力・性格の自己評価

——心がやさしく友だちが多い——



(4) どういう生き方をしたいか

モノグラフ・高校生'84「おとなになることのイメージ」では、表Ⅳ-6と同じ項目の調査をし、次のような結果を得ている（ただし高校1～3年男女）。即ち、男女ともに支持されている生き方は、「平凡でいいから安定した人生を送りたい」で、男子74%、女子81%であり、ついで「人の役に立つ人間と思われたい」が男子76%、女子83%に達する。逆に圧倒的に否定されているのは、「人の上に立つ人間になりたい」で否定する者の割合は、男子47%、女子65%である。この結果を要約するなら、「周囲の人々から、役に立つ、または頼りになる人間のように思われたいが、人の上に立つという役割はとりたくない。むしろ平凡でいいから安定した人生を送りたい」ということになろうか。大志を抱かない安定志向型の人生観であろう。

しかし、今回の調査では、男女ともに支持されている生き方で最も高いものは、「頼りになる人間と人から思われたい」（男子86%、女子82%）、ついで「人の役に立つ人間」（男子77%、女子82%）である。逆に圧倒的に否定されているのは、男子では「あまり目立たないふつうの人」57%、女子では「人の上に

立つ人間」62%である。いずれにせよ、青雲の志を抱く意欲的な生徒が多い。もちろん、「平凡で安定した人生」支持派は男子55%、女子69%に減ってはいるが、安定志向型の人生観も、やはり根強くある。この結果の違いは、前回の調査が1～3年（1年が一番多い）を含めた生徒であったこと、調査校のレベルがさまざまであったことにくらべ、今回は全員が3年生で調査時期が卒業期であったこと（ほぼ、全員の進路が決定。P.6表Ⅰ-5参照）、調査校のほとんどが進学校であることなどの違いによるものと思われる。

つまり、心やさしい生徒たちがふえたといっても、それは、一面において、進路が閉ざされているように思う見通しの暗さのもたらしたもので、進路に希望を抱いている者は、今も昔も、未来に夢を託す生き方をしている。しかし、残念ながら、学歴社会のもとでは、学力に自信を持てなくなると望みの大学へ入れそうもないから、閉ざされた将来を予感し、それがやさしさをもたらさず。これからの世の中では、流動化がさらに進み、学力や学歴を問われる割合はさらに減少しよう。

そう考えると、生徒たちは、不必要な悩みから無気力になっているといえなくもない。

表Ⅳ-6 どういう生き方をしたいか

(%)

項目	尺度	いつもわりと そう思っている		少しそう思っている	あまりぜんぜん そう思わない	
平凡でいいから安定した人生を送りたい	男子	9.0	20.9	24.7	28.5	16.9
		└─29.9─┘			└─45.4─┘	
	女子	14.4	26.7	27.7	19.3	11.9
		└─41.1─┘			└─31.2─┘	
人の役に立つ人間と思われたい	男子	18.9	28.5	30.0	17.4	5.2
		└─47.4─┘			└─22.6─┘	
	女子	21.3	30.2	30.2	12.9	5.4
		└─51.5─┘			└─18.3─┘	
頼りになる人間と人から思われたい	男子	24.3	32.2	29.1	10.0	4.4
		└─56.5─┘			└─14.4─┘	
	女子	18.8	23.8	39.6	12.4	5.4
		└─42.6─┘			└─17.8─┘	
あまり目立たないふつうの人でありたい	男子	5.2	13.6	24.5	39.5	17.2
		└─18.8─┘			└─56.7─┘	
	女子	8.0	16.9	31.9	30.8	12.4
		└─24.9─┘			└─43.2─┘	
友だちの中で人気者になりたい	男子	11.9	20.5	32.1	30.1	5.4
		└─32.4─┘			└─35.5─┘	
	女子	9.4	17.3	39.7	25.2	8.4
		└─26.7─┘			└─33.6─┘	
優秀であると人から思われたい	男子	12.6	23.3	31.8	24.1	8.2
		└─35.9─┘			└─32.3─┘	
	女子	5.4	19.8	37.2	29.7	7.9
		└─25.2─┘			└─37.6─┘	
人の上に立つ人間になりたい	男子	15.1	21.3	26.1	27.9	9.6
		└─36.4─┘			└─37.5─┘	
	女子	5.4	10.4	21.8	44.6	17.8
		└─15.8─┘			└─62.4─┘	

まとめに代えて



今回の調査は研究会の同人の中でも高校の教師たちが中心となって、テーマが決まり、そして調査票の作成に入った。

サンプル構成でふれたように、今回の調査は試験の結果がわかる前後に調査票を配布し回収する方式をとったので、生徒たちはもちろんのことだが担任の先生方に多くのご迷惑をかけた。

それにもかかわらず、多くの先生たちはきわめて協力的に調査に加わってくれたが、それは受験する前後の生徒の気持ちを知りたい、そして教師として何ができるのかを考えたいという気持ちの表れであったと思う。

調査結果は、まとめの通りだが、望みの進路へつけた者3割、不満足ながら進学3割、浪人4割の状況であった。全体として明るいとはいえないデータだが、生徒たちはそれなりにしっかりと未来をみつめているように見えた。そして、進路決定から受験、さらに現在までと、生徒たちはその折り返りに、ある時は受験雑誌を手にし、そして模試を活用し、友だちと話し合い、かつ担任のアドバイスや親の意向にも耳を傾け、かなり自主的に進路の選択を行なっている。

つまり、一方では雑誌や模試を重視して情報化社会の中での受験にそなえ、その一方で友だちや親などの人間的なふれ合いも大事にし、マスとパーソナルとのバランスを保ちつつ進路選択を行なっていた。マルチプルなメディアを活用しての受験で、英語は小野慶、数学は岩切、世界史は吉岡といった定評ある参考書を忠実に消化していた。かつての禁欲的なモノトーンな受験とくらべ、さまがわりの著しさを痛感する。それに対して、学校はマルチプルな環境に身を置く生徒たちにいまもって、モノトーンで迫っている印象を受ける。そのため、学校と生徒との感覚が微妙なずれをもたらす。

生徒たちは真剣に進路を選ぼうとしている。生徒たちのそうしたバイタリティを、もっと信用してよいのではないか。そして、生徒が迷った時、失意にくれた時、さらに自信を失った時、そうした時に親身になって相談にのるのが生徒指導であろう。中でも、本意でない進学をしている生徒が多いことを考えると、生徒の立場になって、生徒の個性に応じる形での進路指導を望みたいと思う。

「高校生の進路選択」についての調査

数値は(%)

I. まずあなたご自身のことをおたずねします。

① 現在のあなた

① 出身校 高校

② 性別 (男・女)
72.1 27.9 (女子は公立のみ)

③ 現在の見通し

1. 大学進学	46.9	2. 短大進学	5.7
3. 専門学校などへ進学	2.9	4. 就職	1.2
5. 浪人	42.7	6. その他	0.6

④ 現在のあなたは次の分け方をすると、どれにあたりますか。

1. 第一志望校合格進学 (推薦も含む)	28.2	2. 第二志望校合格進学 (推薦も含む)	12.7
3. 第三志望校合格進学	6.7	4. 第四志望校以下に合格進学	6.0
5. 大学・短大不合格のため各種・専門学校に進学	1.1		
6. 大学等に合格したが、より志望に近いところをめざすために浪人	5.3		
7. 一つも合格しなかったため浪人	37.9	8. 未定	2.1

⑤ 高校3年生のときの成績

	上	中の上	中	中の下	うしろ
1. 英語	15.3	27.5	29.6	16.3	11.3
2. 国語	11.4	29.1	39.2	14.7	5.6

● 資料1 調査票見本および集計表

(集計分析はP.75資料2参照)

② 申し訳ありませんが、あなたの合否結果をぜひお知らせください。

	受験校名	学部名 (学科名)	合 否	受験前の見通し
	(大学名 短大名 専門学校名)		1.推薦合格 2.合格進学 3.合格したが行かない 4.推薦不合格 5.不合格 6.補 欠	A=入れると思っていた B=むずかしいかもしれないが、なんとか入れると思っていた C=入るのは少しむずかしいと思っていた D=とても入れそうもないと思っていた
例	東南大学	文学部	2	B
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				

③ あなたの今のところの進路は、次のどれにあてはまりますか。

○をひとつつけてください。

1. むずかしい国公立大学入学	3.9	2. まあまあの国公立大学入学	8.8
3. やさしい国公立大学入学	1.9	4. むずかしい私立大学入学	16.8
5. まあまあの私立大学入学	14.1	6. やさしい私立大学入学	4.5
7. 短大入学	5.2	8. 専門・専修学校入学	2.6
9. 就職	1.3	10. むずかしい予備校入学	17.7
11. まあまあの予備校入学	15.0	12. 家事に従事	0.9
13. 未定	7.3		

④ それでは、現在のそうした状況はあなたにとって満足できるものですか。

とても満足	かなり満足	やや満足	やや不満	かなり不満	とても不満
19.2	20.2	17.0	21.5	10.9	11.2

II. 次に進学の状況をおききします。

⑤ あなたは進学先を選択するのに、次のことをどの程度考慮にいれましたか。

	とても考慮した	少し考慮した	なんともいえぬ	あまり考慮しない	ぜんぜん考慮しない
① 文章を読んだり書いたりすることが好きである	9.8	15.8	22.1	19.4	32.9
② 外国語や外国の文化に強い関心がある	16.5	15.4	22.2	18.8	27.1
③ 人間とか人生について考えてみたい	16.4	26.1	27.1	13.5	16.9
④ 社会のしくみや動きに関心がある	20.4	26.2	24.7	14.8	13.9
⑤ 自然界のさまざまな現象や生物に興味がある	17.2	18.3	23.5	16.0	25.0
⑥ 物の原理や数学のようなものを理論的に追究したりするのが好きである	17.2	18.6	17.7	14.1	32.4
⑦ 数字を扱うような細かいことが得意である	10.2	19.5	23.2	14.1	33.0

● 資料1 調査票見本および集計表

	とても 考慮した	少し 考慮した	なんとも いえない	あまり 考慮しない	ぜんぜん 考慮しない
⑧ 物を作ったり、細かいことをこつこつやるのが好きである	17.6	23.3	23.1	16.7	19.3
⑨ 自分の日常生活に関係のあるものに関心が強い	22.9	30.8	25.4	10.8	10.1
⑩ 身体を動かすことが好きである	10.4	18.6	30.4	15.0	25.6
⑪ 音楽とか絵画といった芸術的なものにひかれる	8.8	15.0	26.5	15.6	34.1
⑫ わずらわしい対人関係より、一人で本を読んだり実験したりする方が好きである	6.3	13.2	28.9	19.5	32.1
⑬ 人と話したり接触するのが好きである	20.5	27.7	33.4	7.9	10.5
⑭ 人に奉仕できるようなことをしたい	13.8	20.6	35.0	13.5	17.1
⑮ 現代の最先端のことを学びたい	28.4	24.5	22.4	11.4	13.3
⑯ カッコいい学科がある	8.2	11.7	26.7	15.9	37.5
⑰ 将来の仕事に役立つ知識や技術を身につけたい	62.6	23.3	7.3	2.7	4.1
⑱ 就職や就職後の昇進に有利である	33.4	28.3	19.2	8.6	10.5
⑲ 将来、独立・自営ができる	15.3	16.9	30.5	14.8	22.5
⑳ 親の仕事を将来継ぐために必要である	3.0	4.1	11.1	9.3	72.5
㉑ 資格をとりたい	38.4	27.6	15.8	6.7	11.5
㉒ 学生生活を楽しみたい	35.2	31.1	17.4	7.9	8.4
㉓ 就職と関係なく教養を高めたい	18.7	24.0	35.6	9.8	11.9
㉔ 将来、生活が豊かになる	16.3	25.2	32.8	12.5	13.2
㉕ 生活費を稼ぐためアルバイトする必要がある	11.1	15.3	26.1	17.8	29.7

	とても 考慮した	少し 考慮した	なんとも いえない	あまり 考慮しない	ぜんぜん 考慮しない
②⑥ 親しい友人が同じコースを選んだ……	1.2	6.7	8.7	15.3	68.1
②⑦ 親兄弟のすすめがあった……	2.5	15.5	12.3	17.8	51.9
②⑧ 適性検査の結果……	2.0	11.3	16.0	15.0	55.7
②⑨ 教師と面接相談の結果……	3.3	16.9	19.6	17.9	42.3
③⑩ 大学でスポーツ、クラブ活動にう ちこめる	5.7	13.6	23.9	18.1	38.7

⑥ 国公立大学を受験した人におたずねします。あなたは下記のことをどの程度考慮にいれましたか。(国公立を受けなかった人は次の問い⑦にすすんでください。)

	とても 考慮した	いくらか 考慮した	なんとも いえない	あまり 考慮 しなかった	ぜんぜん 考慮 しなかった
① 教授陣が優れ、有名な教授がいる……	14.6	23.8	20.6	19.8	21.2
② 自分のやりたい分野の研究ができる……	58.0	26.2	7.9	3.8	4.1
③ 自分のやりたいことは、そこにし かない	20.5	23.2	30.5	9.7	16.1
④ 施設、設備が立派である……	30.0	32.7	19.5	7.0	10.8
⑤ 環境が良く、ゆったりして雰囲気 が良い	36.7	31.3	16.9	6.1	9.0
⑥ 家から近く、通学に便利である……	17.8	19.5	14.3	19.2	29.2
⑦ 都市の中心にあり、勉強、アルバイト、 遊びのどれにも都合がよい	9.4	14.3	19.9	21.6	34.8
⑧ 伝統のある大学である……	27.4	24.5	19.8	11.1	17.2
⑨ 親兄弟などの出身校である……	2.6	4.1	8.5	9.0	75.8
⑩ 将来、就職に有利である……	24.8	34.6	14.3	7.6	18.7
⑪ 浪人はできない……	17.8	16.6	13.4	14.0	38.2

● 資料1 調査票見本および集計表

	とても 考慮した	いづらか 考慮した	なんとも いえない	あまり 考慮 しなかった	ぜんぜん 考慮 しなかった
⑫ 国公立の方が私立より格が上である	18.4	24.6	25.7	11.4	19.9
⑬ 学費が私立とくらべて安い	57.0	30.1	4.7	4.4	3.8
⑭ 私立の経済的負担に耐えられない	22.9	24.9	22.6	16.7	12.9
⑮ 学力が全体に平均していて共通一 次も二次も自信があった	6.7	12.3	35.9	20.8	24.3
⑯ 私立に落ちるかもしれない	11.8	16.2	14.5	17.7	39.8
⑰ 家族や先生のすすめがある	6.2	18.8	22.3	17.3	35.4
⑱ 推薦入学の制度がある	2.3	2.6	7.7	9.4	78.0

7 私立大学を受験した人におたずねします。あなたは下記のことをどの程度考慮にいれましたか。(私立を受験しなかった人は次の問い8にすすんでください。)

	とても 考慮した	いづらか 考慮した	なんとも いえない	あまり 考慮 しなかった	ぜんぜん 考慮 しなかった
① 教授陣が優れ、有名な教授がいる	9.5	24.2	24.5	16.4	25.4
② 自分のやりたい分野の研究ができる	49.0	26.0	12.7	5.6	6.7
③ 自分のやりたいことは、そこにし かない	17.2	21.1	30.7	13.6	17.4
④ 施設、設備が立派である	20.0	32.9	24.9	10.3	11.9
⑤ 環境が良く、ゆったりして雰囲気 が良い	21.4	33.3	21.4	13.0	10.9
⑥ 家から近く、通学に便利である	20.7	28.3	17.8	16.4	16.8
⑦ 都市の中心にあり、勉強、アルバイト、 遊びのどれにも都合が良い	15.9	23.0	22.2	18.3	20.6
⑧ 伝統のある大学である	30.9	32.6	18.1	8.6	9.8
⑨ 親兄弟などの出身校である	3.6	5.6	9.8	7.6	73.4

	とても 考慮した	いくらか 考慮した	なんとも いえない	あまり 考慮 しなかった	ぜんぜん 考慮 しなかった
⑩ 将来、就職に有利である……………	27.1	38.4	16.0	7.8	10.7
⑪ 浪人はできない……………	24.8	15.3	15.9	15.9	28.1
⑫ 校友(同窓生)がたくさんおり、社 会に出てから有利である	4.8	17.2	19.5	16.4	42.1
⑬ スポーツなどで有名である……………	4.4	6.9	18.5	15.0	55.2
⑭ 地方の国立大学より有名私立大学 の方がよい	19.0	18.7	18.1	10.6	33.6
⑮ 学生数の多いマンモス大学の方が 賑やかで活気がある	5.9	10.0	23.7	22.0	38.4
⑯ 苦手科目があり科目数が多いと負 担である	17.8	19.9	20.3	16.4	25.6
⑰ 国公立大学に落ちるかもしれない……	16.5	15.0	15.4	9.1	44.0
⑱ 家族や先生のすすめがある……………	5.1	19.6	20.1	18.5	36.7
⑲ 推薦入学の制度がある……………	8.8	3.9	9.6	9.0	68.7

8 進路に関する情報源とその利用度についておたずねします。

あなたが進学にあたり、学部や学科をきめるのに①～⑯はそれぞれどれくらい参考になりましたか。あてはまるものに○をつけてください。

	とても 参考にした	かなり 参考にした	あまり 参考にしない	まったく 参考にしない
① 進学に関する単行本や雑誌……………	21.4	41.5	26.3	10.8
② テレビやラジオ番組……………	2.6	7.6	36.0	53.8
③ 両親との会話……………	11.1	29.4	38.2	21.3
④ 両親以外の肉親や親類の人との会話……	5.8	18.7	35.3	40.2
⑤ クラスメート(校内の友人)との会話……	13.2	40.2	32.0	14.6
⑥ 校外の友人(小・中学時代など)との会話……	4.3	13.8	39.2	42.7
⑦ クラブなどの先輩の話……………	4.8	17.4	33.6	44.2
⑧ 年長の知人(社会人・大学生)との会話……	8.7	22.2	30.9	38.2
⑨ 小・中学時代の先生の話……………	2.3	6.1	25.5	66.1

● 資料1 調査票見本および集計表

	とても 参考にした	かなり 参考にした	あまり 参考にしない	まったく 参考にしない
⑩ 高校の先生の話	13.5	39.6	30.6	16.3
⑪ 予備校などの先生の話	5.9	16.1	26.2	51.8
⑫ 大学当局発行のパンフレット類	18.8	33.6	25.6	22.0
⑬ 高校で作成した進路指導資料(校内模 試成績を含む)	13.8	35.9	28.8	21.5
⑭ 大学主催の説明会(出版社等主催も含む)	2.9	6.6	25.0	65.5
⑮ 校外模試の結果	18.2	32.3	26.8	22.7

9 あなたが志望大学を選ぶときはどうでしたか。あてはまるものに○をつけてください。

	とても 参考にした	かなり 参考にした	あまり 参考にしない	まったく 参考にしない
① 進学に関する単行本や雑誌	24.5	40.1	21.3	14.1
② テレビやラジオ番組	2.5	6.9	34.0	56.6
③ 両親との会話	13.4	31.1	32.7	22.8
④ 両親以外の肉親や親類の人との会話	5.7	13.5	34.2	46.6
⑤ クラスメート(校内の友人)との会話	11.6	39.5	27.7	21.2
⑥ 校外の友人(小・中学時代など)との会話	2.7	13.2	32.1	52.0
⑦ クラブなどの先輩の話	4.2	16.4	28.1	51.3
⑧ 年長の知人(社会人・大学生)との会話	7.3	20.4	26.7	45.6
⑨ 小・中学時代の先生の話	2.2	6.2	24.5	67.1
⑩ 高校の先生の話	14.2	37.4	28.8	19.6
⑪ 予備校などの先生の話	6.0	16.2	25.9	51.9
⑫ 大学当局発行のパンフレット類	22.6	30.5	24.3	22.6
⑬ 高校で作成した進路指導資料(校内模 試成績を含む)	16.1	34.5	26.2	23.2
⑭ 大学主催の説明会(出版社等主催も含む)	3.9	8.8	21.3	66.0
⑮ 校外模試の結果	23.6	33.9	23.0	19.5

10 あなたが志望している学部・学科では、具体的にどのようなことを学ぶか知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. よく知っている	43.7	例：(工業化学)	(化学工学)
		無機工業化学	反応工学
2. 少し知っている	45.0	有機工業化学	単位操作
		工業化学実験	移動速度論
3. よく知らない	8.1		化学工学実験
4. ほとんど知らない	3.2	(いずれも専門必修)	

III. 高校三年のことをおたずねします。

11 この一年間をふりかえって、一～二年時とくらべて次のようなことがどのくらいありましたか。

	とても そう思う	少し そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思えない	まったく そう思えない
① 学校の授業の予習・復習の時間がふえた	14.5	24.0	19.4	21.8	20.3
② 受験用の問題集や参考書をやる時間がふえた	52.8	31.9	5.6	5.3	4.4
③ 受験科目でない授業での内職やいねむりがふえた	23.0	24.2	17.3	19.2	16.3
④ 放課後、教室で級友や部活動の友人と雑談したりゲームをしたりして過ごす時間がほとんどなくなった	16.1	19.8	20.6	26.7	16.8
⑤ いつも受験が頭の上みにあって遊んでいてもいまひとつのれなかった	23.9	23.8	15.6	19.3	17.4
⑥ 寝る時間が午前0時をすぎる日が多くなった	36.8	20.6	14.1	11.6	16.9
⑦ 予備校・塾に通う回数や時間が多くなった	26.8	17.9	8.9	11.1	35.3
⑧ 学園祭も適当にやるが多かった	9.9	13.8	19.6	22.5	34.2
⑨ 受験以外のことにはあまりかかわりたくないという気持ちがとても強かった	6.7	16.5	17.6	28.2	31.0
⑩ 受験のことが気になりながらもマンガや週刊誌を読んでいる時間がふえた	11.3	15.0	27.9	24.4	21.4
⑪ 浪人という言葉をわりと気楽に使って、他人事のように思っていた	25.2	26.6	21.1	14.5	12.6
⑫ 受験だけが人生ではないと思うことがよくあった	19.8	26.8	26.9	15.3	11.2
⑬ 真剣に受験勉強をやったので有意義だった	7.2	16.1	27.5	23.7	25.5

12 この一年間をふりかえって、受験のためにやっておけばよかったと思っていることはありますか。

	とても そう思う	少し そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	まったく そう思わない
① 学校の授業や補習をもっと熱心に聞いておけばよかった	25.3	27.4	20.5	15.5	11.3
② 受験用の問題集や参考書をもっとやっておけばよかった	38.2	32.2	13.8	9.6	6.2
③ 予備校や塾にもっと通っていたらよかった	10.5	12.2	23.8	24.3	29.2
④ 担任と受験校選択についてもっと話し合っておけばよかった	4.8	7.3	24.5	31.2	32.2
⑤ 偏差値をもっと研究しておけばよかった	3.4	4.8	17.9	31.5	42.4
⑥ 模試をたくさん受けておけばよかった	11.3	16.9	19.8	24.7	27.3
⑦ 推薦入試についてもっと調べておけばよかった	8.9	13.5	15.4	19.4	42.8
⑧ 自分の適性をもっとしっかりと時間をかけて見きわめておくべきだった	12.1	12.5	17.7	23.2	34.5

13 この一年間をふりかえって、高校生活を充実させるためには何にもっと打ち込んでおけばよかったと思いますか。

	とても そう思う	少し そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	まったく そう思わない
① 受験勉強をもっとやっておくべきだった	33.1	30.4	17.1	12.0	7.4
② 学園祭にもっと熱中しておくべきだった	14.2	19.5	32.5	17.9	15.9
③ 部活動をもっと続けておくべきだった	18.7	21.3	26.0	16.5	17.5
④ 級友や部活動の友人ともっと友情を深めておくべきだった	19.1	27.4	28.8	14.0	10.7
⑤ 読書やスポーツをもっとやっておくべきだった	26.7	32.2	22.2	9.6	9.3
⑥ 生徒会・委員会活動にもっと積極的に参加すべきだった	8.2	12.2	31.4	21.9	26.3
⑦ 家族との団らんをもっとしておくべきだった	3.1	8.3	40.0	22.6	26.0

14 三年時の夏休みをふりかえてみてください。夏休みが終わった後で次のようなことを考えましたか。

	とても そう思った	少し そう思った	どちらとも いえない	あまり そう思わな かった	まったく そう思わな かった
① 第一志望校のランクを下げようと思 った	7.0	18.0	11.7	19.7	43.6
② このままでは現役で合格できない のではないかと不安感がありました	26.5	28.5	13.3	17.0	14.7
③ 二学期からの授業への集中度がま した	6.5	18.6	30.6	26.0	18.3
④ 受験科目でない授業での内職やい ねむりがふえた	17.6	21.4	18.3	20.5	22.2
⑤ 国公立志望から私立志望に転ずる 級友がふえた	13.5	22.8	24.6	21.2	17.9
⑥ 推薦入学に応募できないかと考え るようになった	13.1	22.7	10.3	15.4	38.5
⑦ 志望校選択について担任から得る 進路情報にあまり期待しなくなった	9.2	12.4	41.1	23.8	13.5
⑧ 担任と個人面談や三者面談をする 機会がふえた	5.9	20.2	25.5	20.0	28.4

15 次のようなことは、一・二年時の夏休みと比較してどうですか。

	三年時が 多かった	一・二年時 と同じ	一・二年時 が多かった	まったく ない
① 予備校や塾や補習へ行った回数	63.4	9.7	5.3	21.6
② 海水浴やプールへ行った回数	8.1	16.8	37.7	37.4
③ アルバイトの量	3.1	4.0	19.6	73.3
④ 家族と旅行した回数	2.5	9.6	23.0	64.9
⑤ 図書館に通った回数	46.3	11.4	6.3	36.0
⑥ 友人と旅行やハイキングなどをした回数	4.5	13.2	34.4	47.9
⑦ 町内の祭りや盆踊りなどに参加した回数	3.0	13.6	18.7	64.7
⑧ 家での勉強時間	81.1	13.6	2.6	2.7
⑨ 受験以外の読書時間（マンガ、週刊誌 は除く）	13.7	40.4	33.0	12.9

● 資料1 調査票見本および集計表

16 受験が一段落した今、あなたは次のことを思いっきりやりたいと思っていますか。

	とても そう思う	少し そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	まったく そう思わない
① 受験と関係ない読書をしたい……………	48.6	25.1	9.3	9.9	7.1
② 友人と語りあかしたい……………	49.8	28.4	11.8	6.2	3.8
③ 友人と旅行がしたい……………	56.4	23.0	9.2	6.2	5.2
④ 一人で旅行がしたい……………	39.0	24.4	15.9	11.4	9.3
⑤ 映画館で映画をみたい……………	45.5	26.0	13.2	10.0	5.3
⑥ 一日中テレビをみてみたい……………	18.5	14.9	18.2	27.3	21.1
⑦ 家族といっしょに食事をしたい……………	6.7	12.8	31.9	26.1	22.5
⑧ 受験をわすれてのんびり暮らしたい……………	36.5	20.4	18.6	15.6	8.9
⑨ くたくたになるまでスポーツをし てみたい……………	38.2	29.0	14.9	8.9	9.0
⑩ 自動車の免許をとりたい……………	47.4	19.4	10.7	10.4	12.1
⑪ 自分の好きなことを存分にやりたい……………	73.1	14.6	6.1	3.1	3.1

17 この一年間に次のようなものを利用しましたか。

	ほぼ毎日	週に3~4日	週に1~2日	春期講習	夏期講習
① 予備校……………	8.6	16.3	23.7	6.2	45.2
② 塾……………	4.4	16.9	56.2	3.1	19.4
③ 補習(校内の)……………	1.9	5.9	35.5	4.0	52.7
④ 通信添削……………	11.8	13.3	74.9		
⑤ ラジオ講座……………	47.1	15.0	37.9		
	0回	1~2回	3~4回	5~6回	7回以上
⑥ 校外模試(校内実施を含む)……………	2.9	12.4	27.7	27.9	29.1

18 それでは①~⑥は受験に役立ちましたか。

	大変 役にたった	少し 役にたった	どちらとも いえない	あまり 役にたたな かった	まったく 役にたたな かった
① 予備校……………	24.2	33.3	17.7	14.2	10.6
② 塾……………	18.9	23.1	28.3	8.0	21.7
③ 補習(校内の)……………	13.1	38.4	27.8	10.1	10.6
④ 通信添削……………	16.5	24.6	28.0	7.8	23.1
⑤ ラジオ講座……………	16.4	19.5	30.3	4.5	29.3
⑥ 校外模試(校内実施を含む)……………	21.2	41.4	22.0	7.9	7.5

IV. あなたの高校の進路指導についてお聞きします。

- 19 あなたの学校の進路指導（ホームルームでの進路の学習、進学・就職の指導、各種進路情報の提供、担任の先生などとの面談など。補習授業、模擬試験などは除く）を全体的にどう評価しますか。一つだけ選んでください。

- | | |
|---------------------|------|
| ① たいへん熱心であったと思う | 21.8 |
| ② まあまあ熱心な方だったと思う | 33.0 |
| ③ よくわからないがふつうだったと思う | 28.8 |
| ④ あまり熱心ではなかったと思う | 10.5 |
| ⑤ 不熱心だったと思う | 5.9 |

- 20 高校では三年間を通して、ロングホームルームの時間などに進路について学んだり、話し合ったりすることになっています。あなたのホームルームをふりかえって評価してください。

- | |
|-------------------------------------------------|
| 4.2 ① ホームルーム年間プランにもとづき、資料や事例を中心に進路について多くのことを学んだ |
| 8.5 ② 時にはホームルームで進路について、熱心に話し合ったこともあった |
| 41.5 ③ ふつうだったと思う |
| 26.4 ④ あまり熱心ではなかったと思う |
| 19.4 ⑤ 不熱心だったと思う |

- 21 あなたは自分の進路について、担任の先生（二年または三年時）とうちとけて話し合えましたか。

- | | |
|---------------------|------|
| ① 十分に話し合えた | 14.8 |
| ② 十分とはいえないがかなり話し合えた | 17.8 |
| ③ 必要に応じて話し合えた | 40.3 |
| ④ あまり話し合えなかった | 18.9 |
| ⑤ まったく話し合えなかった | 8.2 |

● 資料1 調査票見本および集計表

22 あなたの学校の進路指導室（または進路資料コーナーなど）には、進路に関する資料や情報はどのくらい整っていると思いますか。

- ① かなり整っている方だと思う 25.0
- ② まあまあ整っていると思う 32.4
- ③ ふつう程度だと思う 25.2
- ④ あまり整っていないと思う 7.1
- ⑤ ぜんぜん整っていないと思う 2.3
- ⑥ ほとんど利用したことがないのでわからない 8.0

23 高校生活の三年間をふりかえって、全体的に評価してください。

- ① たいへん充実した生活であった 17.3
- ② まあ充実した生活だった 42.2
- ③ ふつうだったと思う 20.7
- ④ あまり充実した生活ではなかった 14.4
- ⑤ つまらない生活であった 5.4

24 学校であなたが選んだコースはどれでしたか。コース制でない場合は、自分の目標から選択した科目によって答えてください。

- ① 国立文系 15.3
- ② 国立理系 33.1
- ③ 私立文系 33.5
- ④ 私立理系 15.1
- ⑤ その他 3.0

（体育、芸術は文系。教育は文系、理系にわかれます。）

25 あなたは自分の選んだコースまたは科目群をどのように考えていますか。

- | | | | | | | |
|----------------------|------|--------------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| | | とても
そうである | まあ
そうである | なんとも
いえない | あまり
そうでない | ぜんぜん
ちがう |
| ① 自分の進路に合ったコースであった…… | 39.0 | 37.4 | 13.5 | 5.6 | 4.5 | |
| ② 自分の能力に合ったコースであった…… | 23.9 | 42.2 | 23.6 | 6.5 | 3.8 | |

	とても そうである	まあ そうである	なんとも いえない	あまり そうでない	ぜんぜん ちがう
③ 自分の好きな科目があったからよかった	30.6	38.5	19.8	6.7	4.4
④ 自分の将来がかかっているからやむを得なかった	9.9	21.2	31.2	20.5	17.2
⑤ 親友がいたからよかった	9.6	21.3	32.0	15.5	21.6
⑥ 信頼できる教師に出会えてよかった	13.5	24.9	36.6	11.6	13.4

26 あなたが高校で選んだ文系、または理系について総合的にどう評価しますか。

- | | |
|------------------|------|
| ① 満足している | 35.8 |
| ② だいたい満足している | 45.9 |
| ③ どちらでもよかった | 10.5 |
| ④ ちがう方を選んだ方がよかった | 7.8 |



27 あなたは次の①～⑩のような先生について、どのように思いますか。

	とても 好感を もてる	かなり 好感を もてる	少し 好感を もてる	かなり 反感を 感じる	とても 反感を 感じる
① 学歴意識が根強い社会だから、できるだけ知名度の高い学校に進んだ方が将来のためだとはっきり言う教師	6.4	9.7	34.8	31.4	17.7
② 世の中の状況はどんどん変わるのだから、大学の知名度などにこだわらず、自分の好きなことをやる大学や学部を選ぶべきだと言う教師	34.9	37.2	23.3	3.1	1.5
③ 早くから目的意識をもって勉強できるから、自分の進路はできるだけ早く決めた方がよいと言う教師	15.2	28.7	41.2	12.8	2.1
④ 「自らの進路は自らの意志と責任で決めよ」と言って、ほとんど口をはさまない教師	13.9	25.7	38.3	18.4	3.7
⑤ 何年浪人してもA大学に入るという希望の生徒に、君の方では浪人しても無理だからランクを下げた方がいいと直言する教師	4.9	10.0	34.5	34.6	16.0

● 資料1 調査票見本および集計表

	とても 好感を もてる	かなり 好感を もてる	少し 好感を もてる	かなり 反感を 感じる	とても 反感を 感じる
⑥ 父母や家族が反対しても、本人が進みたい道があった場合、いっしょになって親を説得してくれる教師	32.9	32.9	27.6	4.1	2.5
⑦ 難関校を目指すなら、運動クラブは少なくとも三年生になったら退部して、勉強に専念すべきだと言う教師	3.5	7.7	30.2	41.0	17.6
⑧ 難関校を目指すなら、三年生になって異性との交際はひかえた方が君たちのためだと忠告する教師	2.8	3.3	20.2	40.1	33.6
⑨ 君は女性だから就職や結婚を考えると、浪人は避けた方がいいと忠告する教師	4.7	8.7	31.3	35.7	19.6
⑩ 浪人が決まったとき、予備校選びまで忠告する教師	7.8	13.1	40.0	24.7	14.4

28 それでは、あなたの学校には次のような先生がどれくらいいましたか。

	ひとりも いない	何人か いる	3分の1 くらい いる	半分 くらい いる	たくさん いる
① 学歴意識が根強い社会だから、できるだけ知名度の高い学校に進んだ方が将来のためだとはっきり言う教師	12.9	57.9	11.7	7.1	10.4
② 世の中の状況はどんどん変わるのだから、大学の知名度などにこだわらず、自分の好きなことをやれる大学や学部を選ぶべきだと言う教師	4.4	47.3	17.8	14.3	16.2
③ 早くから目的意識をもって勉強できるから、自分の進路はできるだけ早く決めた方がよいと言う教師	4.3	32.5	19.2	18.7	25.3
④ 「自らの進路は自らの意志と責任で決めよ」と言って、ほとんど口をはさまない教師	14.7	57.4	11.7	7.4	8.8
⑤ 何年浪人してもA大学に入るという希望の生徒に、君の力では浪人しても無理だからランクを下げた方がいいと直言する教師	11.3	49.8	16.5	12.0	10.4

	ひとりも いない	何人か いる	3分の1 くらい いる	半分 くらい いる	たくさん いる
⑥ 父母や家族が反対しても、本人が進みたい道があった場合、いっしょになって親を説得してくれる教師	28.0	56.2	8.9	3.1	3.8
⑦ 難関校を目指すなら、運動クラブは少なくとも三年生になったら退部して、勉強に専念すべきだと言う教師	18.0	44.1	14.5	11.4	12.0
⑧ 難関校を目指すなら、三年生になって異性との交際はひかえた方が君たちのためだと忠告する教師	28.6	46.8	9.5	7.6	7.5
⑨ 君は女性だから就職や結婚を考えると、浪人は避けた方がいいと忠告する教師	38.7	40.8	9.4	6.6	4.5
⑩ 浪人が決まったとき、予備校選びまで忠告する教師	22.6	50.3	11.9	7.7	7.5

29 あなたは、次の①～⑦のような生き方、考え方についてどう思いますか。

	とても 賛成	かなり 賛成	やや 賛成	やや 反対	まったく 反対
① 志望校を決める際には、業者や予備校の偏差値よりも <u>自分の志望第一に通す</u>	41.1	31.5	21.8	4.4	1.2
② 志望校を決める際には、校内の資料や担任のアドバイスよりも、 <u>業者や予備校などの資料を重くみる</u>	3.6	15.2	37.8	35.5	7.9
③ 業者や予備校等の模擬試験で、「合格可能性判定らん」にC（5段階判定）がついたのて、三か月後に受験をひかえたこの際、 <u>志望校のランクをおとした</u>	1.4	2.5	19.3	42.8	34.0
④ 先生方もその生徒の能力、適性などを認め、親も承知でA大学進学を推めているのに、本人は浪人するのは絶対いやだから、 <u>1ランク下げたB大学に進学したいという</u>	4.6	15.3	36.6	28.1	15.4
⑤ 中学を卒業後、高校へ進学せず独学か予備校へ通って、義務教育終了者が受けられる「 <u>大学入学資格検定試験</u> 」を受けて、ひたすらA大学進学を目指す	8.9	12.3	26.8	23.2	28.8

● 資料1 調査票見本および集計表

- ⑥ 高校には入学しておいて、アメリカ等の高校に一年留学し（その間日本では休学扱いとなる）、帰国してから英語力を生かしてC大やD大など英語でできこえた大学を受験する予定である
- | | とても賛成 | かなり賛成 | やや賛成 | やや反対 | まったく反対 |
|---|-------|-------|------|------|--------|
| ⑥ | 14.5 | 25.8 | 38.1 | 14.2 | 7.4 |
- ⑦ 偏差値が高い大学へ入学するには、公立の中学校や高校へ進むよりは知名度の高い私立の中学校や高校へ入った方が有利である
- | | とても賛成 | かなり賛成 | やや賛成 | やや反対 | まったく反対 |
|---|-------|-------|------|------|--------|
| ⑦ | 9.3 | 16.3 | 36.1 | 24.4 | 13.9 |

③⑩ あなたの場合、志望大学（短大）決定に至るまでに、両親（または両親にかわる保護者）や担任との話し合いはスムーズに進みましたか。

- | | 大変スムーズに進んだ | 少しくい違った | かなりくい違った | まったくくい違った | 自分ひとりで決めた |
|------------|------------|---------|----------|-----------|-----------|
| ① 父との間 | 33.7 | 24.0 | 8.4 | 3.4 | 30.5 |
| ② 母との間 | 39.3 | 23.3 | 8.3 | 2.5 | 26.6 |
| ③ 担任の先生との間 | 47.7 | 18.1 | 4.6 | 2.4 | 27.2 |

③⑪ では、スムーズに進まなかった人（③⑩で2～4と答えた人）におたずねします。そのくい違いはどの部分にありましたか。（③⑩で1、5と答えた方は③⑫へすすんでください。）

- ① 父親と
- | | とてもくい違った | かなりくい違った | あまり違わなかった | まったく違わなかった |
|----------------|----------|----------|-----------|------------|
| 1. 大学を決めるとき | 11.7 | 34.5 | 35.9 | 17.9 |
| 2. 学部・学科を決めるとき | 10.0 | 20.4 | 40.2 | 29.4 |
| 3. 将来の職業を決めるとき | 15.4 | 22.2 | 29.4 | 33.0 |
- ② 母親と
- | | とてもくい違った | かなりくい違った | あまり違わなかった | まったく違わなかった |
|----------------|----------|----------|-----------|------------|
| 1. 大学を決めるとき | 12.3 | 31.2 | 37.2 | 19.3 |
| 2. 学部・学科を決めるとき | 6.7 | 18.7 | 34.3 | 40.3 |
| 3. 将来の職業を決めるとき | 10.0 | 22.2 | 30.1 | 37.7 |
- ③ 担任の先生と
- | | とてもくい違った | かなりくい違った | あまり違わなかった | まったく違わなかった |
|----------------|----------|----------|-----------|------------|
| 1. 大学を決めるとき | 8.1 | 30.2 | 38.7 | 23.0 |
| 2. 学部・学科を決めるとき | 6.1 | 9.0 | 35.5 | 49.4 |
| 3. 将来の職業を決めるとき | 5.0 | 10.4 | 35.0 | 49.6 |

32 おとなになり、社会的に成功するためには、若い頃、次のようなことがどのくらい必要だと思いますか。

	とても 必要	かなり 必要	やや 必要	あまり いらない	ぜんぜん いらない
① なにかスポーツが得意……………	21.3	25.4	39.5	10.8	3.0
② 一流の大学を卒業しておく……………	19.0	35.4	30.6	10.2	4.8
③ 友だちから信頼される……………	64.0	27.8	6.0	1.4	0.8
④ 体が丈夫……………	64.1	29.0	5.5	0.7	0.7
⑤ がんばり強い……………	69.3	25.4	3.8	0.8	0.7
⑥ 良い趣味をもつ……………	25.6	28.9	30.3	12.7	2.5
⑦ 先生に信頼される……………	16.7	23.3	34.0	18.2	7.8
⑧ 外国語が得意……………	30.9	37.4	23.3	5.5	2.9
⑨ 思いやりがある……………	53.2	27.8	14.1	3.3	1.6
⑩ ワードプロやパソコンを操作できる……………	13.0	24.0	35.2	19.9	7.9
⑪ 服装のセンスがある……………	4.5	8.7	38.1	32.6	16.1
⑫ 作文力や文章力がある……………	29.2	38.4	25.8	5.5	1.1
⑬ 社会的な常識がある……………	58.3	29.9	10.1	1.0	0.7
⑭ 礼儀正しい……………	55.7	31.2	11.3	1.0	0.8
⑮ 異性からも人気がある……………	20.8	21.8	36.8	15.9	4.7

33 共通一次試験についておたずねします。

ア. 三年のはじめには共通一次を受けるつもりでしたか。 はい いいえ まよっていた
58.1 35.6 6.3

イ. 共通一次の願書を出しましたか。 はい いいえ
54.1 45.9

ウ. 共通一次のテストを受けましたか。 はい いいえ
52.1 47.9

エ. 共通一次のテストを受けた人におきさします。あなたの自己採点はつぎのどこに位置しますか。

1,000~900点	899~800点	799~700点	699~600点	599~500点	499点以下
2.1	16.4	37.5	29.5	12.6	1.9

オ. 二次試験を受けましたか。 はい いいえ
63.7 36.3

カ. 共通一次のテストを受けなかった人におきさします。受けなかった理由として次の4点をどう思いますか。

	とても そうで あった	少し そうで あった	どちらとも いえない	あまり そうでは なかった	まったく そうでは なかった
a. 5教科7科目が負担だったから……	63.3	17.8	5.1	3.9	9.9
b. 国公立に魅力がなくなったから……	23.1	18.3	17.7	17.1	23.8
c. 将来の就職に有利でないから……	3.3	4.8	30.6	20.1	41.2
d. 私立の方が受験科目が少なく…… て負担が少なかったから	53.8	21.3	10.2	4.8	9.9

34 あなたは、次のような仕事につくようになると思いますか。

	とても 無理 だと思う	かなり 無理 だと思う	やや 無理 だと思う	たぶん 可能 だと思う	絶対 可能 だと思う
① 社会的に尊敬される仕事につく……	8.7	12.9	38.5	33.3	6.6
② たくさんの人を部下に持つ仕事につく	17.8	20.7	32.6	24.9	4.0
③ 専門職といわれる仕事につく……	6.1	7.6	21.8	52.0	12.5
④ 世間の人に名前が知られる仕事につく	16.4	18.7	36.2	22.6	6.1
⑤ お金のもうかる仕事につく……	12.6	14.3	40.2	26.5	6.4

35 あなたは、同じ学年の友だちと比べて、自分をどういう人間だと思いますか。

	ぜんぜん そう思わない	あまり そう思わない	少し そう思う	とても そう思う
① 体力なら人に負けない……………	19.0	42.3	29.2	9.5
② 心がやさしい……………	6.9	28.5	50.4	14.2
③ 運動神経がいい……………	26.5	34.9	29.3	9.3
④ ナウい（服装など）……………	35.8	47.4	13.2	3.6
⑤ 勉強がよくてできる……………	22.4	48.5	25.0	4.1
⑥ 異性に人気がある……………	33.4	50.7	14.3	1.6
⑦ 冗談を言ってよく人を笑わせる……………	14.2	36.7	36.6	12.5
⑧ リーダー的……………	23.7	47.7	22.7	5.9
⑨ 苦しいこともがまんできる……………	8.1	33.5	45.7	12.7
⑩ みんなから信頼されている……………	9.8	38.7	44.8	6.7
⑪ 顔がいい（ハンサム、または美人、かわいい）……………	35.7	45.3	15.4	3.6
⑫ 努力型……………	22.0	36.4	27.9	13.7
⑬ 友だちが多い……………	7.9	29.0	39.2	23.9
⑭ 将来、大物（おおもの）になりそう……………	25.2	45.9	18.6	10.3
⑮ 音楽や芸能界の話題に詳しい……………	31.3	37.5	23.1	8.1
⑯ 社会の出来事に詳しい……………	13.5	42.2	34.3	10.0
⑰ 担任の先生からかわいがられる……………	23.9	46.7	23.8	5.6
⑱ なんとなく目立つ……………	22.1	43.3	26.1	8.5
⑲ しっかりしている……………	13.9	36.5	38.6	11.0
⑳ 行動力がある……………	15.4	42.6	30.5	11.5
㉑ 言葉遣いがいい……………	16.0	41.2	34.0	8.8
㉒ マジメ……………	13.3	29.5	39.5	17.7
㉓ 楽天的（くよくよしない）……………	12.3	30.7	30.9	26.1

36 あなたは、次のように思うことがありますか。

	ぜんぜん そう 思わない	あまり そう 思わない	少し そう 思っている	わりと そう 思っている	いつも そう 思っている
① 人の役に立つ人間だと思われたい……	5.5	16.3	29.8	28.9	19.5
② 優秀であると人から思われたい……	8.4	25.5	33.4	22.2	10.5
③ 平凡でいいから安定した人生を送 りたい	15.6	26.1	25.5	22.4	10.4
④ あまり目立たずふつうの人であり たい	15.9	37.2	26.6	14.4	5.9
⑤ 自分の気持ちをわかってくれる友 だちがいなくてさみしい	30.5	45.7	13.6	5.9	4.3
⑥ 自分つまらない人間だ……	21.2	37.3	24.0	11.6	5.9
⑦ 頼りになる人間だと人から思われ たい	4.9	10.6	32.0	29.9	22.6
⑧ 人の上に立つ人間になりたい……	12.1	32.4	24.8	18.4	12.3
⑨ 友だちの中で人気者になりたい……	6.5	28.6	34.2	19.6	11.1
⑩ 先生から関心を持たれていない……	14.9	53.0	18.6	9.9	3.6
⑪ 自分は運のいい(ツイている)人間 だ	19.5	29.9	21.0	18.1	11.5

—長い間ありがとうございました。—

調査票 質問No.2 分析項目

数値は(%)

(1) 受験タイプ

①国立のみ	②国立+私立	③私立のみ	④短大のみ	⑤私立+短大
5.8	36.9	46.2	3.9	3.7
⑥国立+短大	⑦その他			
0.4	3.1			

(2) 国立難関大(東大、一橋大、東工大、お茶の水女子大、京大、東北大)合格状況

①合格	②不合格	③受験せず
5.6	15.4	79.0

(3) 私立難関大合格状況

①合格	②不合格	③受験せず
17.5	38.9	43.6

(4) 受験学部は一貫しているか

①理系で学部も一貫している	37.9	②理系で一貫しているが、学部はまちまち	7.2
③文系で学部も一貫している	28.3	④文系で一貫しているが、学部はまちまち	20.5
⑤文理混合型	2.7	⑥その他(芸術、体育関係のみ受験)	3.3
⑦文系、理系、芸術、体育関係等、さまざま受験している	0.1		

(5) 受験した学部の中で一番多いもの

①理工	②法、政治	③文、外国語	④経済、商	⑤教員養成
37.8	11.0	21.1	14.9	2.6
⑥医、歯、薬	⑦農、水、畜産	⑧家政	⑨芸術、体育	
5.7	3.4	1.6	1.9	

※2種類以上で同数書かれている場合、トップに書いてある学部を採択

(6) “受験前の見通し”のA～Dのランクのうち、AあるいはBのつもりで受けた大学の合格率

①100%	②80%以上	③60%以上	④40%以上	⑤20%以上
24.4	1.1	6.0	9.3	7.4
⑥19%以下1%以上	⑦0%(1校も合格せず)	⑧AあるいはBのつもりで受けた大学はない		
0	32.3	19.5		

